

本日ここに、平成31年3月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位におかれましては、御多忙の折にもかかわらず、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃、議員各位には、円滑な町政の推進に御支援と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

今年は、平成が終わりを告げ、新たな年号が始まる年となります。

当町を取り巻く環境につきましても、成田国際空港、首都圏中央連絡自動車道、銚子連絡道路によって広く国内外の地域と結ばれる条件が整いつつあり、そのポテンシャルや、豊かな自然、歴史、文化などの地域資源を生かし、「横芝光の地域力」を最大限に高めながら、地域の活性化を図っていくことが求められております。

本年度からスタートいたしました「第2次横芝光町総合計画」におきましては、基本理念を「協働と創造による 地域力発揮のまちづくり」とし、まちの将来像を「人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光」として、将来像の実現に向けて各種事業に全力で取り組んでまいり所存でございます。

また、当町を取り巻く環境の変化に対応するため、今年4月には行政組織改編を行い、実情に合わせた新たな行政需要に柔軟に対応し、限られた人員で最大の効果を発揮できる体制を構築することといたしましたので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

そして、本議会は、議員各位におかれまして最後の定例会となります。この間の御理解と御協力に対しまして、改めて感謝と御礼を申し上げます。

来る4月21日には、横芝光町議会議員選挙が執り行われます。出馬される皆様の御健闘をお祈りいたします。

それでは、議会開会に当たり、平成31年度の施政方針を述べさせていただきます。

【予算案の概要】

はじめに、平成31年度当初予算案の概要について申し上げます。

まず、国の動向であります。平成31年度予算におきましては、経済の好循環をより確かなものとし、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現を目指すこととしており、予算編成に当たっては、「人づくり革命」の推進や「生産性革命」の実現など重要な政策課題への対応に必要な予算措置を講ずること、また本年10月1日

に予定されている消費税率の引上げによる、引上げ前後の消費の平準化を図るため、十分な支援策を講ずることなどを基本方針とし、編成された国の一般会計予算案の総額は、過去最大の101兆4,571億円となりました。

国予算案には、消費税増収分を活用した幼児教育の無償化や低所得高齢者の介護保険料の負担軽減強化など社会保障の充実のほか、消費税引上げに伴う低所得者・子育て世帯向けプレミアム商品券の発行や「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」の実施などが盛り込まれており、いずれも町の行財政運営に大きく影響するものでありますので、予算成立の動向を注視し、的確に対処してまいり所存であります。

このような状況の下、当町の新年度の予算規模は、一般会計が100億8,000万円、国民健康保険特別会計が28億9,200万円、後期高齢者医療特別会計が2億8,100万円、介護保険特別会計が23億9,200万円、農業集落排水事業特別会計が5,760万円、東陽食肉センター特別会計が1億9,400万円、病院事業会計が収益的収支では16億5,435万円、資本的収支では、収入が2億7,795万6千円、支出が3億6,907万5千円となりました。それぞれ本議会に提案させていただきましたが、病院事業会計を除く6会計の当初予算の総額は、158億9,660万円で、今年度当初予算と比較すると、率で0.6パーセント、金額で1億110万円の減額予算となりました。

また、国の平成30年度補正予算（第2号）に伴い、プレミアム付商品券事業及び担い手確保・経営強化支援事業に係る事業費を補正予算として提案させていただきましたが、繰越しにより新年度において実施することとなりますので、議員各位には、御理解賜りますようお願い申し上げます。

それでは、次に主な事業について申し上げます。

【企画財政課】

はじめに、企画財政課関係について申し上げます。成田国際空港のA滑走路に係る夜間飛行制限変更の実施時期につきましては、1月28日の町議会議員全員協議会で議論をしていただきましたが、2月4日の「成田空港に関する四者協議会」において、国土交通省、成田国際空港株式会社から東京オリンピック・パラリンピックを万全の態勢で受け入れるためなど、改めて、その必要性について説明があり、国・千葉県・空港周辺9市町・空港会社の四者で、2019年冬ダイヤからの実施について確認をいたし

ました。

次に、J R横芝駅利便性向上促進協議会についてであります。従来、J R横芝駅に関して発着便の増加やバリアフリー化を行政が要望してきましたが、今後は町内の経済団体や利用者などを巻き込んで官民が一体となった要望活動を行うことを目的として、1月31日に設立総会を開催いたしました。J R横芝駅の利便性や快適性が向上することで、住民生活そして町の活性化に寄与することを期待しているところでございます。

次に、いわゆる成田財特法の改正についてであります。成田空港周辺地域の公共施設などの計画的な整備を促進するために必要な国の財政上の特別措置について定めた、総務省所管である「成田国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」は、平成30年度末でその期限が切れます。国におきましては、「成田空港の更なる機能強化」を踏まえ、法律の有効期限を10年間延長する等の法改正について2月8日に閣議決定がなされ、今通常国会に提出されたとのことであり、改正法が成立すれば当町についても発展の基盤となるインフラ整備の促進が期待できると考えております。

次に、土地利用ビジョンの策定についてであります。「成田空港の更なる機能強化」に伴う空港との共生・共栄を念頭にしたまちづくりや、首都圏中央連絡自動車道、銚子連絡道路の整備を見据えた新たな町の活性化戦略として、当町の目指すべき土地利用の方向性を示す「土地利用ビジョン」の策定作業を進めてまいりました。

この土地利用ビジョンは、概ね20年先に当たる2040年の町の姿を見据え、「人・モノの新たな流れを生み出す都市構造への転換」を将来像として掲げるとともに、居住地形成、交通網形成、産業振興に向けた戦略プランと重点戦略をお示ししております。

ビジョンの具現化に向けて、国や県そして事業者との役割分担やスケジュールを町民と共有し、現在進められている「成田空港周辺の地域振興策」の実施プランに提案してまいります。

次に、地方創生関係についてであります。昨年4月27日にオープンいたしました「横芝駅前情報交流館ヨリドコロ」の運営状況につきましては、指定管理者である横芝光町観光まちづくり協会の御協力により、開館から今年1月まで約9か月の来館者数は延べ3万5千人に達し、移住定住サポートセンターの開設も含めまして概ね順調に運営されていると報告を受けております。

また、横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に掲げる「地域の魅力を最大限に活用し町を活性化する」ために千葉大学と協働で開発を進めている「地域資源を活用したニューツーリズム」を戦略的に進めるため、今年2月から国内最大手のアウトドアメーカーであるモンベルのフレンドタウンに千葉県で初めて登録いたしました。今後はモンベルの知識や技術をツアー実施に生かすとともに、91万人のモンベル会員に向けて情報発信を行ってまいります。

次に、第2次横芝光町男女共同参画計画の策定についてであります、第1次横芝光町男女共同参画計画の計画期間が、今年度末をもって終了することから、なお一層の男女共同参画を推進するため第2次計画の策定作業を進めてまいりました。

第2次計画では、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」や「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づく市町村計画としても位置付け、「認めあう心 支えあう力 やさしさでつながる参画社会をめざそう」を基本理念として、計画期間5年間の施策と取組内容の目標値や成果指標を設定し、進捗管理を行う新たな仕組みを構築いたしました。

計画の推進に当たっては、行政の取組だけでなく、町民、事業者、関係団体の皆様と協働の取組が必要でありますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【産業振興課】

続いて、産業振興課関係についてであります、平成30年度の主食用米の作付面積は、国による生産数量目標の配分が廃止されたこともあり、全国で1万6千ヘクタール、千葉県で6百ヘクタール増加しましたが、全国的には作況指数が98となり、米価も安定傾向となりました。

しかしながら、米の生産調整は、需給バランスの維持と米価の安定、稲作経営の安定を図る上で必要なことから、引き続き需給調整を推進・支援してまいります。

また、持続可能な農業の実現のため、高齢化、担い手不足、耕作放棄地などの集落・地域が抱える「人と農地の問題解決」を、集落・地域での話し合いを基に、農地中間管理事業の活用や基盤整備事業などを集落・地域とともに検討し、支援に努めてまいります。

次に、商工観光事業関係についてであります、元旦の初日の出イベントでは両海岸に合わせて3,500人が訪れ、また、毎月10日まで「坂

田城跡梅まつり」とJR東日本千葉支社主催の「駅からハイキング」が同時開催されているところがございます。

町では貴重な観光資源の有効活用を図るため、周辺環境整備に努め、一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会においては、商工会及び各種団体と協力して事業の充実と情報発信等積極的に行っているところがございます。今後も観光振興の推進や、町の活性化につながる観光事業展開のため、連携を密にし事業の充実を図ってまいります。

【都市建設課】

続いて、都市建設課関係についてであります。合併以来、町の一体性の向上を図るため、東西方向の連絡道路を中心に幹線道路網の整備を進めており、町道I-14号線道路改良事業につきましては、木戸地先長塚地区の県道横芝停車場白浜線の交差点において、事業主体である山武土木事務所が平成29年度から交差点改良事業を進めているところであり、平成31年度には完成する予定と伺っておりますので、町も県道に接続するまでの道路改良工事費と県への負担金について新年度予算に計上させていただきました。

次に、町道I-10号線道路改良事業についてであります。宮川地先古屋地区の都市計画道路は、交通量も多く改良要望が多かった路線であり、本年度より用地を先行して取得しているところで、一部補償費による移転が行われたところがございます。新年度も引き続き用地及び補償費を予算計上させていただきます。

このほか、町道の舗装修繕及び橋梁修繕事業につきましては、町道総延長765キロメートルの内、約78パーセントが舗装済みであります。そのほとんどの路線が整備後20年以上経過し、経年による舗装の劣化・損傷が進んでおります。

また、町道に架かる2メートル以上の橋梁200か所を調査したところ、その内、高齢橋の目安となる建設後50年を経過した橋梁が、現時点で73パーセントあることから、今後も、舗装修繕計画及び橋梁長寿命化修繕計画の下、計画的かつ効率的に修繕を行ってまいります。

【健康こども課】

続いて、健康こども課関係についてであります。「子ども・子育て支援事業計画」につきまして、2020年度を初年度とする次期5か年計画の策定に向け、平成31年度に現計画の取組状況を評価・検証しつつ、ニーズ調査での調査結果や有識者、教育・保育関係者から構成される子ども・

子育て会議での意見、幼児教育・保育無償化のための子ども・子育て支援法一部改正等の関連法案の動向等を踏まえ、更なる子育て支援の環境整備を推進してまいりたいと考えております。

今後とも、より一層子育ての取り巻く実情に応じた支援体制の充実及び適切な保育サービスに努めてまいります。

次に、子育て世代包括支援センターについてであります。人口が減少する中、一人一人の妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を強化するため、2020年度に「子育て世代包括支援センター」を開設する予定でございます。平成30年度は、健康づくりセンター「プラム」内に相談室を設置するため、改修の設計を行いました。この設計を基に、住民のプライバシーを守り、妊婦や親子の相談に十分対応できるよう、平成31年度予算に改修工事の費用を計上させていただきました。

また、町内の自殺対策を強化するため、自殺対策連絡協議会を立ち上げ、町内の見守りや声掛けなど、町全体で自殺予防を推進するための連携会議を開催してまいります。

【教育課】

続いて、教育課関係についてであります。2月25日に開催されました町議会議員全員協議会で御説明させていただきましたとおり、小中学校児童生徒の学校給食費負担金無償化を、平成31年度から実施したく新年度予算に計上させていただきました。拡充される見込みの空港周辺対策交付金を活用しての実施を検討していましたが、教育費負担軽減による子育て支援事業の拡充と、空港機能強化に係る町民理解を図るためにも先行実施が必要であると判断したところでございます。議員各位には、御理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、今年度末で委託契約期間が満了となる学校給食の調理業務につきましては、先月、学校給食調理業務委託業者選定委員会で公募型プロポーザルを行い、新年度からの委託業者を決定いたしました。給食費無償化後も給食センターと調理業者が共同して、安心安全でおいしい学校給食の提供に努めてまいります。

次に、横芝小学校の改築に向けた取組についてであります。今年度に行った既存校舎の耐力度調査の結果、国庫補助の適用を受けられる見込みとなったことは既に報告させていただいたところでございます。新年度は、新校舎等の配置を検討する基礎調査を実施すべく新年度予算に所要の費用を計上させていただきましたので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

す。

【社会文化課】

続いて、社会文化課関係についてであります。昨年6月から行ってまいりました文化会館空気調和設備の機能回復工事が1月に完了いたしました。施設を利用される方には、大変御不便をおかけいたしました。空調設備の整備が整いましたことから、今まで以上に町民の皆様に御活用いただきたいと考えております。

次に、町体育館の屋根防水シートについてであります。経年劣化により剥離していることから、全面改修すべく工事費と監理費を新年度予算に計上させていただきましたので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

【東陽食肉センター】

続いて、東陽食肉センター関係についてであります。本年1月末現在のと畜頭数は、豚が9万4,920頭で昨年同期と比較して1万567頭の減、率で10.0パーセントの減となりました。

また、牛については、2,943頭で216頭の増、率で7.9パーセントの増となりました。

夏の猛暑や豚流行性下痢(PED)等による豚と畜頭数減少に伴う減収、その一方で、施設の老朽化に伴う維持補修に大変苦慮しているところでございます。

非常に厳しい財政状況ではありますが、より一層の経費削減に努めるとともに、豚と畜頭数回復を図り、衛生的で安全な食肉を生産するため、今後も引き続き関係者と協力、連携を図りながら努力してまいります。

【東陽病院】

最後に、東陽病院の運営状況について御説明申し上げます。

運営状況でございますが、1月末現在の延べ患者数は、外来につきましては33,400人、入院につきましては21,091人で、病床利用率は68.9パーセントと、昨年と比較しますと患者数で396人、利用率で1.3ポイント増加しており、医業収益も昨年度と比較し増収となる見込みでございます。しかしながら、看護職等の増員に伴う人件費増や最低賃金引上げに伴う各種業務委託料が増額となり、医業収支全体といたしましては、昨年度と比較し減額収支決算となる見込みでございます。

看護職等の増員は患者サービスの向上と収益向上への先行投資でありますので、皆様の御理解を得ながら、地域病院として安定運営を図ってまいりますので、引き続きの御協力をお願い申し上げます。

以上、平成31年度における施策の一端を述べさせていただきましたが、職員一丸となり計画事業を効率的かつ効果的に推進してまいりますので、議員各位には、更なる御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。